



【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 D-4-1	
事業名 災害公営住宅整備事業（葉ノ木平）	
事業費 総額：350,664千円（国費：306,830千円） （内訳：調査設計費 34,563千円、造成工事費 21,998千円、工事費 294,103千円）	
事業期間 平成24年度～平成27年度	
事業目的・事業地区 東日本大震災による白河市葉ノ木平地区で発生した地すべりは、住宅13戸を飲み込み、津波被害を除き県内最大の人的被害（死者13名）をもたらした。また、地区内にあった葉ノ木平市営住宅にも著しい被害が生じるなど、この地区の約36%の建物が半壊以上の被害を受けた。 市内で最も被害が甚大であった同地区の復興を推進するためには、被災者が安心して安全な生活を営み、地域コミュニティが維持・継続できる環境整備を図ることが重要であることから、本地区に災害公営住宅を整備する。	
事業結果 災害公営住宅を建設し、平成27年5月より入居を開始した。 【整備概要】 整備戸数：16戸 （※葉ノ木平地区のみならず、東日本大震災による被害を受け仮設住宅等に避難をした市民の方々に入居希望のアンケートを取り、整備戸数を算出した。） 整備棟数：2棟 構造：鉄筋コンクリート造 規模：2階建て 延床面積：951.10㎡ 付帯施設：駐車場（26台）、駐輪場（2基）、外部物置（16戸分）、ごみ置場（1基）	
	
施工前	施工後

## 事業の実績に関する評価

### ① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価

平成 27 年 3 月に建設工事等が完了し、平成 27 年 5 月より災害公営住宅の入居が開始された。現在においても、政策的空き住戸を除いた全戸が入居状態にあるため、本事業の目的を達したと考えられる。

・入居戸数：16 戸のうち 14 戸（令和 2 年 12 月 31 日時点）

入居していない 2 戸については、政策的空き住戸。

※政策的空き住戸：不測の事態や住み替えなどに対応すべく、入居募集を行っていない住戸。

・入居者数：23 名（令和 2 年 12 月 31 日時点）

### ② コストに関する調査・分析・評価

県が定める基準をもとに積算し、工事を実施したため、当該事業費は妥当なものと考えられる。

### ③ 事業手法に関する調査・分析・評価

平成 25 年 1 月から平成 26 年 3 月にかけて調査・設計業務を行い、平成 26 年 6 月から平成 27 年 3 月まで建設工事を行った。

調査・設計ならびに工事において遅滞なく事業が進められたことから、事業手法は妥当なものと考えられる。

## 事業担当部局

白河市建設部建築住宅課

電話番号：0248-22-1111